

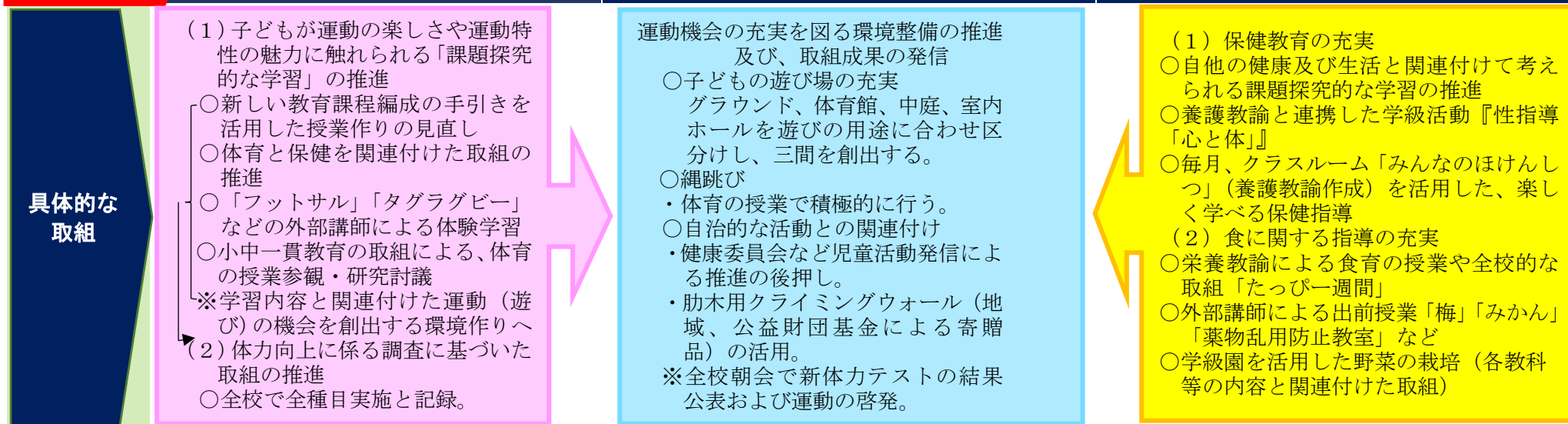
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23007

学校名：栄小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	<p>○全国平均との比較□全国平均から上回っている種目…長座体前屈、20mシャトルラン、握力、上体起こし、ソフトボール投げ□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている種目…立ち幅跳び、反復横跳び□全国平均から下回っている種目…50m走</p> <p>シャトルラン：92回や87回を記録する突出した層が平均を押し上げており、学年全体としても全国の「平均」を超える粘り強さを持っている。握力（学年平均約18.5kg / 全国平均目安14~16kg）、上体起こし（学年平均約20回 / 目安15~17回）、ソフトボール投げ（学年平均約25m / 目安18~23m）といずれも全国の「得点6（平均）」の基準値を上回る良好な結果。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び、外遊びの場づくりなど取組が敏捷性の運動能力向上につながっている。 ・令和5年度よりは、記録が上回った種目が増えたが、50m走、立ち幅跳びについては全国平均との開きも大きい。 ・母集団の人数が少ないため顕著に表れている部分もあるが、50m走では二極化の傾向が見られる。
体力・運動能力 <女子>	<p>○全国平均との比較□全国平均から上回っている種目…長座体前屈、50m走、立ち幅跳び□全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている種目…20mシャトルラン、握力、上体起こし、ソフトボール投げ□全国平均から下回っている種目…なし</p> <p>長座体前屈：学年全体で平均を約16cmも上回っている。79cmは全国平均の2倍以上の記録。50m走：多くの児童が8.8秒~9.6秒の範囲に収まっており、大半の児童が全国平均より速いタイム。立ち幅跳び：183cmや181cmなど、全国トップレベル（10点満点）の児童が複数おり、学年全体でも平均を上回る児童が多数。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び、外遊びの場づくりなど取組が敏捷性の運動能力向上につながっている。 ・令和6年度よりは、記録が上回った種目が増えた。 ・母集団の人数が少ないため顕著に表れている部分もあるが、ソフトボール投げで二極化の傾向が見られる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好き」と回答する児童の割合 R4：男子97.7%（全国平均91%）、女子65.5%（全国平均83.7%） R5：男子100%（全国平均92.4%）、女子79%（全国平均85.9%） ・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 R4：男子2.8%（全国平均8.8%）、女子17.2%（全国平均14.5%） R5：男子5.3%（全国平均8.8%）、女子0%（全国平均14.6%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動やスポーツをすることを好き」と答えた児童の割合は増えている傾向があるが、全国平均と比べて女子の割合はまだ低い。 ・男女ともに体育の時間以外に運動（遊びを含む）やスポーツをする時間は長い。放課後も体を動かす遊びや習い事でスポーツをする児童が多いと考えられる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------



家庭・地域との連携・協働

- ・通知表と併せて新体力テストの結果を保護者に周知する。
- ・健康づくりの取組について保健だよりにより家庭への周知し、啓蒙する。
- ・栄町中パートナー校の学校間で（小中一貫した教育）、「健やかな体育成部」による参観授業や、情報交流の会議などを進めて連携していく。